

別紙様式 1

令和 6 年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ谷 4 5 - 2 2
指定管理者名	株式会社ネオビエント	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課	にぎわい政策課交流拠点室	【連絡先】	088-621-2132

1 施設の概要

設置年月日	平成 1 3 年 7 月 1 日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんどを設置及び管理に関する条例に定めたとおり
開館日・休館日等	8 月 1 2 日から 8 月 1 5 日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	・あすたむらんどを設置及び管理に関する条例第 2 条各号に掲げる事業の実施に関する業務 ・あすたむらんど施設等の維持管理に関する業務 ・あすたむらんど利用の許可に関する業務 ・あすたむらんど使用料の徴収に関する業務 ・その他あすたむらんど管理に関し、知事が必要と認める業務
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 50 名 臨時職員 14 名 計 64 名
	(内訳) ・正規職員 50名 ・パート職員 13名 ・パート非常勤 1名

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
	R6年度	39,099	50,891	22,490	23,385	40,088	30,098	45,268	43,032	69,767	30,605	21,726	35,273	451,722
	前年度	42,472	57,010	25,018	32,574	47,163	30,301	46,582	33,659	78,938	31,125	25,970	33,555	484,367
	前々年度	34,376	51,920	23,317	22,839	35,484	22,602	55,937	33,899	69,365	29,045	22,716	37,063	438,563

月別利用 料金収入 (千円)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
	R6年度	4,644	4,162	1,938	3,374	7,361	3,014	2,636	4,597	9,356	5,000	2,885	5,353	54,320
	前年度	5,642	6,409	3,444	7,173	13,036	5,651	5,085	4,359	9,841	5,329	3,386	5,302	74,657
	前々年度	4,311	7,164	3,222	4,446	9,375	3,301	5,641	3,361	8,865	4,242	2,358	4,929	61,215

施設毎 利用料金 収入 (千円)		カレイドシアター	吉野川めぐり	科学館	プラネタリウム	多目的ホール等	計
	R6年度		12,582	32,287	9,355	96	54,320
	前年度		27,233	36,847	10,289	288	74,657
	前々年度		25,732	26,508	8,557	418	61,215

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		R 6 年度	R 5 年度（前年度）	R 4 年度（前々年度）	
収入	指定管理料	640,945	639,920	636,072	
	光熱費補填【特殊】	10,225	9,240	11,123	
	自主事業収入	13,643	14,010	11,600	
	その他	4,940	2,325	0	
	計	669,753	665,495	658,795	
支出	固定費	人件費（常勤）	180,917	182,516	185,720
		人件費（臨時・アルバイト等）	38,978	40,320	41,331
		光熱水費	71,556	67,426	69,739
		事務所運営費	76,792	76,791	94,030
	運営費		48,964	51,593	49,745
	維持管理費	清掃費	32,879	32,824	32,099
		施設警備費	12,613	12,613	12,011
		設備運転等管理費	17,602	17,602	16,764
		建築物・工作物・備品等維持管理費	7,963	8,845	8,519
		植栽管理費	23,052	23,054	23,220
		メーカー等発注業務費	18,868	18,671	18,321
		その他の業務費	6,259	10,298	5,888
		修繕費	32,443	32,565	27,538
	その他		52,039	63,992	63,607
	計		620,925	639,110	648,532
	収支		48,828	26,385	10,263

【R6支出項目の補足】

建築物・工作物・備品等維持管理費	自家用電気工作物
	浄化槽
	浄化槽水質分析
	全自動ろ過
	空調機器
	エレベーター
	ホームページ等
	消防用設備
	非常用発電機
	非常用放送

その他業務費	芝草木類処理
	建設廃棄物処理
	産業廃棄物処理
	汚泥処理
	可燃ゴミ処理
	害虫防除
	蛇防除
	デマンド監視業務
	硬貨包装機等保守

「メーカー等発注業務費」には、子ども科学館の展示物等にかかる維持管理費などを含む。

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・複数の取引先から見積を徴収し、価格交渉を行うことで経費削減に努めている。 ・支出状況について職員全体で共有するため、月例会議や担当者会議の機会に協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。 ・修繕等について、全て業者に委託するのではなく、可能なものは職員で修繕し、コスト削減に努めている。 ・企業、団体との共催事業を実施しており、経費の削減に努めている。 ・Z o o m等のツール活用やデジタルデータ化を行うことで、交通費や紙使用量の削減、移動時間の短縮に努めている。
サービス向上の取組	・全社員対象に、ユニバーサルマナー研修を実施し、今後の接客対応に生きる知識習得に努めた。 ・総合案内に英語案内掲示板を設置するなど、インバウンドへのサービス向上にも努めた。 ・様々なSNSを活用し、新たにライブ配信を実施するなど、引き続き利用促進に努めており、登録者数の増加につながっている。 ・アクティブシニアが持つ経験を活かし御活躍いただける機会として、天文ボランティアとして御協力いただくことで、ボランティア御自身のスキル向上はもとより、イベント参加者へのサービス向上にもつなげた。 ・職員が主体となって活動する「サービス向上委員会」「安全衛生美化委員会」「業務改善委員会」を設け、アンケートをもとにした改善策の協議・点検等を行った。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	指定管理料のみではなく、助成金の活用に努めたほか、 ・明日多夢子ども会社 ・子ども実行委員会 ・とくしま木づかいフェア など、多くの自主事業イベントを実施することで、施設の利用促進はもとより、来園者ニーズに沿ったイベント提供に努めた。 また、各イベント時に、来園者サービスの向上のため、キッチンカーを呼ぶことで、収入確保にもつなげている。
----------	--

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・設置式アンケート、WEBアンケートを実施。 ・アンケートの意見・要望を管理運営の改善に速やかに反映するよう努めている。 ・YouTube、Instagram等、SNSでの積極的な広報を実施。新たな取組としてライブ配信を行い、新規視聴者獲得につなげている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・予定通り実施している。 ・R6年度は「子ども実行委員会」等を新規開催。イベント運営を通じ、成功や失敗から踏み出す力、チームで働く力などを子どもたちに養ってもらえる体験の場を提供しており、「生きる力」を意識した事業を行っている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・年間計画に基づき修繕を行うとともに、日頃の巡回等により発見した緊急を要する修繕箇所などは、県に報告した後、修繕を行っている。 ・備品を新規調達した際には県に報告している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	B	・光熱費高騰の影響は大きいですが、使用量自体の削減に努めている。 ・経費支出のPDCAサイクルを職員全体で共有するため、経費管理を行う総務部だけでなく全部門において、光熱水費や消耗品などの固定費について月例会議や担当者会議などをおして協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。 ・軽微な修繕は職員で対応することで、経費の削減に努めている。 ・監査結果を踏まえ、収入・支出の証憑書類を確認し、収支計算書等、各経費の確認を行った。 ・使用料収入が年度目標値に達しなかったため、収入確保に努める必要がある。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・防火管理者、危険物取扱者などを配置し、安全で適正な業務執行に努めており、全体研修のほか、各部署での研修も実施している。 ・使用料の徴収・減免については、適正に実施し、県へ報告している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・業務体制報告書に記載されたとおりの体制が確保されている。 ・ノー残業デーを設けるなど、超過勤務縮減のための取り組みを実施している。 ・引き続き、産業医と相談しながら、メンタルヘルス、健康管理、作業環境などの意見交換を実施している。 ・業務手法の改善やデジタル化に積極的に取り組んでいる。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・インターンシップ制度を設けるなど、職員・スタッフの地元採用に努めている。 ・技術的な制約がある場合を除き、外部委託業務については、県内業者への発注を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・徳島県各部局、徳島県教育委員会、板野町教育委員会、大塚製薬など、各団体・企業と連携・協力し、多種多様なイベントを実施している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・全体での避難訓練のほか、BCP訓練を実施し、災害が起きたときの対策拠点としての対応について実践的なシミュレーションを行い、防災意識を高めた。 ・情報管理に関してプライバシーマークを取得している。 ・園内の他指定管理者と連携して消防訓練を実施。
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・園内の草木をたい肥にして再利用している。 ・節電、節水、裏紙の再利用など小さな取り組みを大切にしている。 ・紙使用量や光熱使用量自体は削減できているが、単価高騰の影響が大きい。 ・SDGsの項目内の「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」「パートナーシップで目標を達成しよう」等を対象とした利用促進事業を開催しており、利用者に楽しみながら環境対策を意識付けできる、「科学館ならではの」取組・工夫を心がけ実施している。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令を遵守し、徳島県情報公開条例に基づく情報公開に関する規程を設けている。 ・各種法定点検など適正に実施している。
総合評価	A	・概ね適切な管理運営業務を行っている。 ・少子高齢化や設備の老朽化の影響を受けながらも、幅広い年齢層をターゲットにしたイベントや、子ども達の「生きる力」を育てる取組など、多種多様な工夫を実施することで、施設の価値の最大化に向けた管理運営を行っている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

- ・コロナ前と比較しても、来園者は若干増加している。今後も自主事業や利用促進事業を企画し、様々な客層をターゲットに企画の段階からブラッシュアップし、利用者サービスの向上に努めていく。
- ・また施設・設備の規模が大きいため、光熱費高騰の影響を大きく受けている。省資源の観点からも、設備を見直していく必要がある。
- ・各遊具・展示については事故がないように、重点的にメンテナンスを心がけて運営していく必要がある。
- ・包括外部監査の結果を踏まえ、適正な管理運営に向けて、引き続き取り組んでいく。